



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

7月号—No.374

2026.6.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



サマー・ファミリー・シアター～なはーとでなつやすみ～(沖縄県那覇市)
撮影:大城洋平

●目次 / contents

特集「2026年夏のフェスティバル」

フェスティバルカレンダー／夏休み子ども企画カレンダー……………2

地域通信……………7

財団からのお知らせ……………9

「地域創造フェスティバル2026」参加者募集／令和9年度「公共ホール
現代ダンス活性化支援事業」実施団体募集／令和7年度「公立文化施設
における政策評価等のあり方に関する調査研究」中間報告書ホーム
ページ公開のお知らせ／令和8年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」募集
開始／令和9年度「リージョナルシアター事業」実施団体募集／令和9
年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」関連事業実施団体募集
(導入プログラム・支援プログラム・市町村連携事業)／「公共ホール邦楽
活性化事業」令和9年度実施団体募集・8年度全体研修会報告／令和
9・10年度「公立美術館活性化事業」参加館募集

今月のレポート……………16

滋賀県守山市 守山市民ホール
「第15回ルシオール アート キッズフェスティバル」



特集「2026年夏のフェスティバル」



恒例の「夏のフェスティバル特集号」の季節となりました。話題の大型企画から定番イベントまで、一挙にご紹介します。

2026年7月～9月 フェスティバル カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。
☉は会場、👉は問い合わせ先です。
(👉は地域創造助成事業)

音楽

●札幌市 7月7日～27日

パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)2026

レナード・バーンスタインが創設した、世界の若手音楽家を育てる国際教育音楽祭。今年は、首席指揮者にデイヴィッド・ロバートソン、客演にライアン・バンクロフトを迎えるほか、PMF修了生のアンドレアス・オッテンザマーも指揮で参加。オーケストラや野外のピクニックコンサートなど、多彩な公演が見どころ。
☉札幌コンサートホールKitara ほか ☉(公財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会 Tel. 011-242-2211

●群馬県草津町

8月17日～31日

第46回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル

46回目となる今回は原点回帰の思いも含め、第1回のテーマで

あったバッハを軸に彼の同時代人、彼から影響を受けた後世の音楽家が生み出した作品に、さまざまな切り口から光を当てる。草津の「白根」、高崎の「榛名」、軽井沢の「浅間」の三名山を音楽でつなぐ新企画「Three Mountains Project」(全3公演)など、多彩なプログラムを展開する。

☉草津音楽の森国際コンサートホール、軽井沢大賀ホール ほか
☉草津夏期国際音楽アカデミー事務局(東京)
Tel. 03-5790-5561

●川崎市 7月25日～8月11日

フェスタサマーミュージック
KAWASAKI 2026

毎年、夏の川崎を盛り上げるオーケストラの祭典。今年は「百花響乱」を合言葉に、首都圏のオーケストラに加えて仙台フィルハーモニー管弦楽団が参加。日替わりで熱いプログラムを披露する。毎年人気の4歳から入場可能な「こどもフェスタ」は2公演に増え、音楽を起点に興味を探究する自由研究応援キットも配布する。

☉ミュージック川崎シンフォニーホール、昭和音楽大学テアトロ・ジョーリオ・ショウワ
☉ミュージック川崎シンフォニーホール
Tel. 044-520-0200

●山梨県富士河口湖町
8月8日～22日

富士山河口湖音楽祭2026

開催25周年となる今年は、昨年に引き続き佐渡裕が登場。ゲストに松井秀太郎を迎えるシエナ・ウインド・オーケストラのコンサート(22日)や上野耕平のプラス・クリニック受講生とPANDA Wind Orchestraメンバーによる演奏会(16日)のほか、多くの音楽イベントが開催される。
☉河口湖ステラシアター、河口湖町民体育館 ほか ☉富士山河口湖音楽祭実行委員会
Tel. 0555-72-5588

●長野県木曾町

8月27日～30日

第52回木曾音楽祭

「自然と音楽の調和」をメインテーマに、52回目の開催を迎える。ミュージック・ディレクターは昨年に続き岡本正之(ファゴット)と村上淳一郎が務め、地元中学校の体育館での前夜祭で幕を開ける4日間のプログラムを、有名曲から知られざる名曲まで、多彩な選曲により構成。演奏家の滞在や会場運営をボランティアが支える、地域に根差した音楽祭。
☉木曾文化公園文化ホール ほか
☉木曾音楽祭実行委員会
Tel. 0264-21-1222

写真

左上: さくらホールオリジナル盆踊り大会「さくら盆ジュエル」(岩手県北上市)

右上: 北部九州ジュニアオーケストラフェスティバル2025 in 佐世保(長崎県佐世保市) ©中倉杜志朗

左下: おどる絵本『みえるとか みえないとか』(さいたま市) ©大洞博靖

右下: アソボ・マナボ・タノシソウブン「こどもオーケストラ教室」(三重県津市)

●長野県松本市
8月16日～9月2日

2026セ이지・オザワ松本フェスティバル

開催35回目の今年は、日本初演の指揮を小澤征爾永世総監督が務めたことでも知られるオリヴィエ・メシアン『トゥランガリーラ交響曲』に首席客演指揮者・沖澤のどかとSKOが挑む。ブルックナーの交響曲第8番(ハース版)の指揮を務めるフランソワ・グザヴィエ・ロトはOMF初登壇。「ふれあいコンサート」では武満徹没後30年を記念したプログラムを展開。

☎キッセイ文化ホール、松本市音楽文化ホール、松本市あがたの森文化会館 ほか ㊟セ이지・オザワ 松本フェスティバル実行委員会 Tel. 0263-39-0001

●静岡市 8月9日

グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2026

2009年にスタートし、今年で17回目を迎えるビッグバンドのフェスティバル。静岡県内で活動する10バンドが出演。静岡県出身で東京藝術大学客員教授を務めるトロンボーン奏者・村田陽一をゲストに迎え、出演団体とのコラボレーション演奏も予定している。

☎グランシップ 大ホール・海 ㊟静岡県文化財団 Tel. 054-203-5714

●広島県福山市 7月18日

第33回ふくやま琴まつり～福山地域の小・中学生による琴演奏発表会～

全国有数の琴の産地として知られ、文化としても琴が息づく福山市で、日頃部活動・クラブや教室で練習する地元の小中学生による演奏会が開催される。翌日の全国小・中学生箏曲コンクールに先駆けたもので、個人

の部16組(19名)、団体の部で10団体が出演。スペシャルゲストの演奏や、優れた音色と装飾の美しさが随一といわれる福山琴が当たる抽選会も予定される。☎ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ ㊟全国小・中学生箏曲コンクール実行委員会事務局 Tel. 084-928-1815

●福岡県那珂川市 8月2日

MIRIKAミュージックフェスタ2026

昨年まで開催していたダンスフェスに代わり、今年は音楽のフェスとして実施。ビッグバンドのライブやバンド演奏、0歳からのコンサート、市民参加のエンタランスピアノステージ、カラオケ大会などなど、1日を通じて会場全体で音楽が楽しめる。公募によるグループが出演する「チャレンジステージ」の最優秀チームは来年のミュージックフェスタにてゲスト出演予定。

☎㊟ミリカローデン那珂川 Tel. 092-954-2211

●大分県大分市 8月30日

北部九州ジュニアオーケストラフェスティバル in 大分

2023年夏の熊本での「北部九州ジュニアオーケストラ・ミュージックキャンプ」をきっかけにスタート。24年の福岡、25年の佐世保開催に続き、今年で4回目。九州北部の4つのジュニア/ユースオーケ団体による、総勢150人超えの大編成で、『威風堂々』など全5曲を披露する。

☎iiichikoグランシアタ ㊟iiichiko総合文化センター Tel. 097-533-4004

●鹿児島県霧島市

7月24日～8月9日

第47回霧島国際音楽祭2026

世界中の演奏家が集う伝統の国際音楽祭で、コンサートとマ

スタークラスの2本柱で開催。オープニング・コンサート(7月26日)には、当音楽祭ではおなじみのエリソ・ヴィルサラゼ(ピアノ)や中江早希(ソプラノ)、山本耕平(テノール)が出演。会期中の週末(8月1日、2日)は計6公演が開催されるなど、今年も充実のラインナップ。

☎みやまコンセール、宝山ホール ほか ㊟みやまコンセール Tel. 0995-78-8000

演劇・ダンス

●岩手県北上市 8月11日

さくらホールオリジナル盆踊り大会「さくら盆ジュール」

毎年大盛況の盆踊り大会。コンドルズとブラック・ボトム・プラスバンドのメンバーがつくったオリジナル盆踊りや伝統の盆踊りを、公募のプラス隊の演奏でみんなで踊る。フィナーレは来場者もアーティストも槽を囲んでの総踊り。ほかにも地域の協力のもと、地元の伝統芸能やお菓子まき、クラフト体験など、誰もが主役のひとつを地域と共につくる。

☎㊟北上市文化交流センターさくらホールfeat.ツガワ Tel. 0197-61-3300

●富山県南砺市

8月28日～9月6日

SCOTサマー・シーズン2026

1982年、鈴木忠志の提唱により日本初の世界演劇祭「利賀フェスティバル」を開催して以来、世界から演劇人が集まり毎年開催されている演劇祭。SCOT創立60周年となる今年は、世界8カ国の俳優が出演する『リア王』や毎夏恒例の花火劇、打楽器奏者・高田みどりと言言声明の会による声明の公演などを鈴木忠志の演出により上演する。

☎利賀芸術公園 ㊟利賀文化会議 Tel. 0763-68-2356

●滋賀県米原市
7月25日～8月2日

芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル2026

1883(明治16)年に長浜市に創建され、1993年から映画館として親しまれるも、96年に幕を下ろした芝居小屋「長栄座」を会館内に復活し、伝統芸能を中心とした催しを2011年より開催。今回は狂言やびわ湖ホール声楽アンサンブルの公演のほか、滋賀県湖北地域の観音信仰を題材にした浪曲と舞踊による創作舞踊を上演する。

☎滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール内 特設舞台「長栄座」 ㊟滋賀県立文化産業交流会館 Tel. 0749-52-5111

●熊本市 8月14日

県劇盆踊り

地域住民をはじめ県民が集える場を創出する目的で毎年開催。地元出身の津軽三味線奏者・本田浩平率いる邦楽演奏家による特別ステージや、生演奏に合わせた自由参加で盆踊りを楽しむイベント。ホワイエに槽を立て、屋内をメイン会場とする。ゲームコーナーや屋台、近隣店舗のマルシェの出店もある。

☎㊟熊本県立劇場 Tel. 096-363-2233

●沖縄県那覇市

7月24日～30日

りっかりっかフェスタ (国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ2026)

「劇場は命薬(ヌチグスイ)」として、2005年から毎年夏に沖縄で開催されるファミリーのための国際舞台芸術フェスティバル。「0歳から大人まで楽しめる作品」をモットーに、豊かな芸術体験がヌチグスイになることを信じて、ベルギーやイタリア、日本など6カ国の7作品を上演する。

topics

●同時上演フェス形式の全国公募型演劇祭 「四季の里演劇祭2」

2024年にスタートした「四季の里演劇祭」は、茨城県を拠点とする演劇チーム「イチノ」が、「茨城発、全国行き。」のコンセプトをもとに活動し、全国で多くの魅力的な地域演劇人と出会ってきたなかで、「茨城に全国の演劇人が集まる機会をつくりたい」という思いから始まりました。

前は、コンテスト形式の「茨城劇王」とサーキット形式「四季の森シアターフェスティバル」という2つの演劇祭を同時開催しましたが、今回は、演劇というものの敷居を下げ、より参加する側も観る側も気軽に楽しめることにフォーカスを当て、「四季の森シアターフェスティバル2026」のみの開催。14の上演エリアで、20分の短編作品をノンストップで上演します。

参加団体は、「この場所だからこそチャレンジできる作品・企画」を提示した団体が公募により選ばれ、前回は上回る38団体となりました。上演会場は、劇場のみならず、みの〜れおよび四季の里全体を自由に使うことができ、参加団体自身で選んでいます。屋内であれば、1Fから2Fに登る階段と、登り切ったところに見える手すりを活用して上演したり、屋外では、特にエリアに限定を設けず、どこまでも芝生を走り回ったり、丘から転げ落ちたり…とにかく自由に使っています。

四季の里演劇祭の最大の特徴は、「音楽フェスのような演劇フェス」。どのステージを見に行こうか計画を立てるワクワク感、その場で初めて出会う新しいときめき感、疲れたら美味しいものでも食べながらのんびりしてもいいフリー感…また次も参加したくなるような楽しい場所になることを目指しています。



●茨城県小美玉市
7月18日、19日
四季文化館みの〜れ、四季の里
四季文化館みの〜れ
Tel. 0299-48-4466
<https://shikinosato-theater-festival.jimdofree.com/>

2024年の四季の里演劇祭の様子

●テンブスホール、ひめゆりピースホール 〇りっかりっかフェスタ事務局 Tel. 098-943-1357

美術

●秋田県三種町 7月25日 第30回みたねサンドクラフト2026

環境省認定「日本の快水浴場100選」にも選ばれた釜谷浜海水浴場で繰り広げる砂像制作

展示イベント。30周年を迎える今年は過去最大級の砂像を制作予定。砂像制作などのワークショップやモルックといったスポーツ体験も行われる。

〇三種町釜谷浜海水浴場
〇三種町サンドクラフト実行委員会事務局 Tel. 0185-85-4830

●神奈川県箱根町
7月17日～8月31日

第3回箱根芸術祭

箱根出身の写真家・遠藤桂が発起人となり2024年にスタートした芸術祭。3回目となる今年は、美術館やホテルのほか、駅や町立施設など19会場で、公募企画を含む29のプログラムが展開される。アーティストのアトリエを訪問して作家と言葉を交わしたり、音や言葉の世界を味わったり、夏休み期間に箱根山内を回遊して、自然や歴史を感じながらアートを楽しめる。

〇箱根写真美術館、箱根湯本駅ほか箱根山内19会場
〇箱根芸術祭実行委員会
Tel. 0460-82-2717

総合

●埼玉県東松山市 8月11日

東松山市民文化センター開館50周年記念事業「ひがしまつやまアートフェスティバル」

開館50周年を記念し、会館の人気企画が勢揃いするアートフェスティバルを開催する。ホールで行うファミリー向けのコンサートでは、地域ゆかりの若手アーティスト「東松山ネクストアーティスト」も出演。こども落語教室やアートの体験コーナー、ミニコンサートが会議室棟で開催されるほかキッチンカーも出店し、親子で1日アートを楽しめる。
〇〇東松山市民文化センター
Tel. 0493-24-2011

●京都市 8月1日

ALTIサマーフェスタVol.2 ～魔法の国のひみつ～

ALTIが「魔法」に包まれる1日。パフォーマンス公演やロビーコンサート、スタンプラリー、軽食も楽しめる。0歳から入場OKの公演には、京都を中心に世界で活躍するジャグリングやマジックなどのパフォーマーが出演。94面に分割して可動する舞台機構を生かした客席前方の栈敷席や、

舞台背景の映像演出など、観客の没入感を高める仕掛けがほどこされている。

〇〇京都府立府民ホール アルティ Tel. 075-441-1414

●広島市 8月1日～9月6日

第3回ひろしま国際平和文化祭 (ひろフェス)

平和への思いを共有する「平和文化」を振興し、「国際平和文化都市」を象徴する文化芸術の祭典。音楽部門「第3回ひろしま国際指揮者コンクール」、メディア芸術部門「ひろしまアニメーションシーズン2026」、ストリートダンス部門「第2回ひろしまダンスコンペティション」など、多彩なイベントを広島市内各所で開催する。

〇JMSアステールプラザ、広島駅南口地下広場ほか
〇ひろしま国際平和文化祭実行委員会事務局 Tel. 082-245-0261

ホール・美術館

夏休み子ども企画 カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。
〇は会場、〇は問い合わせ先です。
(➡は地域創造助成事業)

音楽・演劇・ダンス

●札幌市 7月5日

Kitaraのバースデイ「0歳からの きらきらパイプオルガン」

Kitaraの誕生日にちなんで毎年7月に開催しているコンサート。プロジェクトンマッピングを投影し、普段と違う雰囲気の中で、午前と午後の2公演が行われる。午前中は0歳から入場可能で、オルガンとパーカッションによるディズニーなどの映画音楽を中心とした親しみやすいプログラム。会場にはベビーカー置き場や授

乳スペース、おむつ替えスペースを用意。

☎札幌コンサートホールKitara
Tel. 011-520-2000

●福島県いわき市 7月17日
アリオス キッズルーム・シアター #66「音楽で旅するチェコの世界」

普段なかなか劇場に来ることができない未就学の子もたちとその保護者を対象に、公園に面した開放的なキッズルームを舞台に音楽やダンス、表現あそびを体験してもらうプログラム。今回はチェコを拠点に活躍する後藤博亮(ヴァイオリン)と山田祥子(ピアノ)のデュオが、ヤナーチェクやドヴォルザークなどチェコの作曲家の作品を通して、「聴く・声を出す・体を動かす」音楽体験を提供する。

☎いわき芸術文化交流館アリオス Tel. 0246-22-8111

●さいたま市 7月18日、19日
おどる絵本
『みえるとか みえないとか』

人気絵本作家ヨシタケシンスケ/伊藤亜紗の『みえるとか みえないとか』を原作に、CHAiroid PLINのスズキ拓朗が構成・演出・振付を手掛けた0歳から入場可能なダンス公演を2年ぶりに再演。事前に行われるスズキによる小学生以上を対象にしたワークショップ(7月5日)では、実際の公演の振付も体験してみる。夏休み期間中はギャラリーで同作の絵本挿絵のパネルも展示。本公演後、北九州市や熊本市など全国8カ所ですターの予定。

☎彩の国さいたま芸術劇場
Tel. 048-858-5500

●東京都目黒区 7月21日～24日
子どものためのワークショップ
2026—ダンスワークショップ
2002年の開館当初から実施し

ている舞台芸術ワークショップ。夏休み開催では毎年、子ども向けの活動に力を入れていることでも知られるコンドルズの近藤良平を講師に迎え、ダンスワークショップを開催。小学4年生～中学3年生の参加者が自由な身体表現の面白さや、仲間と共にダンスをつくり上げていく楽しさを体感。最終日にミニ発表公演を行う。

☎圓めぐるパーシモンホール
Tel. 03-5701-2913

●東京都国立市 7月21日
くにたち芸小 こども寄席その15 & 学生寄席その3

プロの落語家と共に日本の伝統話芸「落語」に挑戦する夏の恒例企画。小学1～6年生向け「こども寄席」と、小学校卒業後も通えるよう3年前に新設された中学生～大学生向け「学生寄席」を2日間開催。古典落語や小噺をもとに落語の仕草や演じ分けを稽古するほか、オリジナルの落語づくりにも挑戦でき、最後には仕上がった落語を披露する寄席を開く。

☎FSXホール(くにたち市民芸術小ホール) Tel. 042-574-1515

●横浜市 8月6日～9日
横浜みなとみらいホールこどもフェスタ「みなとみらい遊音地(ゆうおんち)」

コンサートだけではなく、体験型のプログラムがもりだくさんの夏休み企画。舞台上で音の響きや振動を直接体感できるコンサートや、ステージ上でオペラ歌手と一緒に『カルメン』を歌うワークショップ、パイプオルガンのミニコンサートやホールの裏側を見て回る「オルガン&ホール探検!」など、遊園地感覚でホールや音楽の楽しさを体感してもらう。

☎圓横浜みなとみらいホール
Tel. 045-682-2000

●神奈川県伊勢原市 8月11日
神奈川県民ホール県域展開事業
「神奈川フィルと巡る 県内オーケストラコンサート in 伊勢原」

2025年4月から休館中の神奈川県民ホールが県内でさまざまな事業を展開中。今年の夏は昨年好評だった神奈川フィルハーモニー管弦楽団による夏休み親子コンサートをパワーアップして開催。モーツァルトからアンパンマンまでバラエティに富んだプログラムでお届けする。小学生ながら国際コンクールで第3位に入賞した天才少女ピアニスト・天野薫も登場。4歳から入場可能。☎伊勢原市民文化会館 圓神奈川芸術文化財団 県域展開事業課 Tel. 045-662-5901

●石川県金沢市 8月11日
小中学生のためのコンサート
大人も子どもも楽しめるオペラ『リタ』

本格的なクラシック音楽のプログラムを子どもたちにも親しめる内容で上演する毎夏恒例のコンサート。今年には地元を中心に活躍する石川公美(ソプラノ)やオーケストラ・アンサンブル金沢のメンバーたちが出演し、ドニゼッティのコミカルなオペラ『リタ』をお届けする。普段は歌舞伎や能楽などが演じられる邦楽ホールで洋楽のオペラが上演されるという、音楽堂ならではのユニークな空間演出も魅力。

☎石川県立音楽堂
Tel. 076-232-8111

●福井県福井市 7月5日
ハーモニーびくにつく～50分間世界一周!～

子どもたちにクラシック音楽のコンサート鑑賞マナーを身に付けてもらおうと2011年にスタートした毎夏恒例のコンサート。地域に根差した音楽活動の支援も兼ねており、出演者の多く

が福井にゆかりのある演奏家たち。ピアノやオルガン、ヴァイオリン、ホルンといった多彩な楽器が次々と登場し、子どもたちを遠い国々の音楽の世界へと誘う。終演後はパイプオルガン探検ツアーが行われる。

☎ハーモニーホールふくい
Tel. 0776-38-8282

●長野県佐久市
7月31日～8月2日
第9回キッズ・サーキット in 佐久2026

ミュージカルや人形劇、サーカス、コンサートなど24のさまざまな舞台公演を行う、児童・青少年のための舞台芸術フェスティバル。0～3歳が対象の「ベイビーシアター」(3公演)は、五感を刺激する演出や安心して過ごせる空間づくり、幼児の集中力や安心感に配慮された公演が特徴。開幕前日には、パントマイムやミュージカル、ジャグリングなど誰もが身近に表現体験のできるワークショップ「MA-SO-BI」を開催。☎佐久市コスモホール、佐久文化交流センター ほか 圓(キッズサーキット in 佐久)実行委員会
Tel. 0267-62-5535

●神戸市 7月18日
こどもコンサート2026「～ボクのワタシのおんがく日記～たのしい夏やすみ」

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団による夏休みコンサート。0歳から参加でき、客席で音を出すことや、途中で入退場することも可能で、障がいのある方も含め誰もが楽しく鑑賞できるよう、徹底してバリアフリーな空間づくりにも力を入れている。今年は指揮に喜古恵理香、ナビゲーターに打楽器奏者の安永早絵子を迎え、夏休みの思い出を音楽で綴るような日記形式の構成で、クラシックから童謡までさ

t o p i c s

●子どもたちが美術館の新しい“見方”を発見 「こども学芸員とつくる『夏のこども美術館』」



2025年に開館20周年を迎えた兵庫陶芸美術館は、子どもたちの創造力や発想力を育成するため、教育関係機関等と連携して学社連携プログラム事業を実施してきました。2017年には兵庫教育大学と協定を結び、相互の事業を通じた連携を図っています。そのなかで、所蔵品をより教育的な視点も交えながら活用していく取り組みとして、22年から同大学と共同で進めてきたのが「陶芸アートカードづくり」。この夏、陶芸アートカードの完成に合わせて「こども学芸員とつくる『夏のこども美術館』」を開催します。

本展では、“こども学芸員”が陶芸アートカードを使って古陶磁と現代の陶芸作品を比較し、「ここが似ている!」「この感じが同じ!」と見つけた共通点をもとに作品を紹介。こども学芸員は、美術館の仕事や陶芸に興味をもっている県内の小学5年生から中学3年生の子どもたちで、展示プランの作成や解説文執筆にも取り組んでいます。

また、こども学芸員の紹介文に加え、美術館の学芸員によるコメントもあり、ひとつの作品にいくつもの見方があることを知ることができます。会場には「あなたの見つけたポイント」を紹介できるコーナーもあり、感想を残すことで来場者も展示会に参加できます。

陶芸アートカードに選ばれた60作品が一挙に展示され、実物もじっくり鑑賞可能。アートカードで遊べるスペースやぬりえコーナーも設けられています。造形作家で兵庫教育大学教授のあさみまゆみさんが本展のためにつくった、大きくて楽しいぬいぐるみも登場。子どもから大人まで楽しめる展示会です。



●兵庫県丹波篠山市
6月27日～9月6日
📍兵庫陶芸美術館
Tel. 079-597-3961
<https://www.mcart.jp/>

こども学芸員のみなさん

さまざまな名曲を演奏する。

📍神戸文化ホール
Tel. 078-351-3349

●兵庫県西宮市 8月1日 はじめてのミュージカル音楽コンサート

わかりやすい解説を交えたMCとともに、心に響く歌声と迫力ある演奏で、子どもから大人まで

誰もが楽しめるコンサート。物語と音楽がひとつになるミュージカルの名曲を、西宮市出身の斉戸英美子をはじめとする実力派歌手と、大編成のミ・ベモルサクソフォンアンサンブルによる豊かな響きでお届けする。

📍西宮市民会館アミティ・ベイコムホール 📍西宮市文化振興財団 Tel. 0798-33-3111

●岡山県倉敷市 8月22日

こども落語鑑賞会

毎年夏休みに開催している子ども向け落語会。同日開催の本場の上方落語を楽しめる「アルスくらしき寄席」に連動して、本格的な寄席のセットと実力派のプロの噺家の出演により、楽しく真剣に落語を学ぶことができる。映像を使った落語解説や、寄席を盛り上げるお囃子の紹介、舞台上がって落語を実際に体験してみたりと、さまざまな工夫が凝らされている。

📍倉敷市芸文館アイシアター
📍倉敷市文化振興財団

Tel. 086-434-0505

総合

●三重県津市

7月26日～8月30日

アソボ・マナボ・タノシソウブン2026

アーティストと一緒に創作をする少人数制のワークショップや、いつもは入ることのできない県立図書館のバックヤード探検、ピアノ解体ショーなど、ソウブンならではのプログラムを取り揃えた夏休み企画。8月2日の「アソボデー〜!」は、三重ジュニア管弦楽団による弦楽器体験をはじめとする多彩なワークショップやマルシェなど、申し込み不要で一日中自由に参加できる劇場開放イベント。

📍三重県総合文化センター

Tel. 059-233-1105

●京都市 8月15日、16日

プレイ!シアター in Summer 2026 オープンデー

「プレイ!シアター」は“劇場で遊ぼう!”をコンセプトに、より多くの人に劇場に親しんでもらおうと始まった事業。毎年夏休みに開催している「オープンデー」は、終日多彩なアート体験が満喫できる2日間。恒例の「京都市

交響楽団0歳からの夏休みコンサート」や人気絵本作家tupera tupera (ツペラ ツペラ)監修による「むくむくあそびば」など、多彩なジャンルの体験型プログラムが全館で展開される。

📍📍ロームシアター京都

Tel. 075-771-6051

●岡山市 7月31日～8月2日

ハレの輪こどもフェスティバル2026

夏休みの劇場体験プログラムとして、NPO法人岡山市子どもセンターと連携して開催しているフェスティバル。ベルギーの児童演劇カンパニーによる特別公演『やさしいカクメイ』や0歳から楽しめる『ベイビーシアター』、『青い目の人形』などの舞台芸術をはじめ、劇場の大きなガラスをキャンバスに見立てたマスキングテープアートや、遊びと工作のワークショップなど、多彩な体験型企画が実施される。

📍岡山芸術創造劇場ハレノワ

📍NPO法人岡山市子どもセンター

Tel. 086-242-1810(平日10:00～17:00)

●沖縄県那覇市

8月22日、23日

サマー・ファミリー・シアター2026 ~なは一とでなつやすみ~

子どもから大人まで夏休みの一日を劇場で楽しんでもらう企画。本格的な舞台芸術からワークショップや縁日まで、全館で終日さまざまな体験を満喫できる。今年も沖縄県内で活躍するアーティストとオーディションで選ばれた子どもたちが一緒に新しい「ヒーローショー」をつくり上げ、大劇場で発表するほか、0～2歳児を対象にした「あかちゃんコンサート」など、琉球交響楽団メンバーによる親子で楽しめる3つのコンサートを開催。

📍📍那覇文化芸術劇場なは一と

Tel. 098-861-7810

▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

地域通信

●掲載情報について

最新の情報は主催者の発表情報をご確認ください。

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp
芸術環境部 岩下・益子

●2026年9月号情報締切
7月17日(金)

●2026年9月号掲載対象情報
2026年9月～11月に開催もしくは募集されるもの

北海道・東北

●青森県弘前市

弘前れんが倉庫美術館
〒036-8188 弘前市吉野町2-1
Tel. 0172-32-8950 大澤
<https://www.hirosaki-moca.jp/>

開館6周年記念イベント 「れんがひろばの縁日」

開館6周年を記念し、気軽に参加できる「縁日」を開催。ファミリー向けガイドツアーやワンコインナイトミュージアムのほか、青森・弘前で活動するクリエイターによる展示、食などの屋台や音楽ライブ、街歩きなど多彩なプログラムを美術館の内外で開催。美術館前のれんがひろばには、衣装デザイナー・成田あやのと市民が事前のワークショップで制作する「日陰」が登場する。

[日程] 7月11日、12日
[会場] 弘前れんが倉庫美術館

●宮城県塩竈市

塩竈市民交流センター遊ホール
〒985-0052 塩竈市本町1-1
Tel. 022-365-5000 後藤
<https://shiogama-se.net/>

塩竈市遊ホール市民参加企画 塩竈夢ミュージカル 「夏休みの冒険」

2007年度に始まった恒例のミュージカル公演。今年のテーマは少年たちが不思議の世界で経験する大冒険。仙台市を中心に活動する劇団I.Q150の丹野久美子が、一人ひとり向き合いながら稽古を重ね、その成果を上演する。約50人の公募キャスト(小学生以上)の中には、初期からの常連参加者や家族ぐるみの参加者も。また市民手づくりの衣装や小道具も見どころ。

[日程] 7月25日、26日
[会場] 塩竈市遊ホール

関東

●茨城県水戸市

水戸市芸術振興財団

〒310-0063 水戸市五軒町
1-6-8
Tel. 029-227-8111 本橋
<https://www.arttowermito.or.jp/>

谷川俊太郎の「ことば」と「おと」 『いつだって今だもんーきう とあしたのラブストーリー』

幅広い世代に支持された詩人・谷川俊太郎の戯曲『いつだって今だもん』を、彼の子息である音楽家・ピアニストの谷川賢作を迎え、歌・音楽の生演奏だけでなく、子どもも楽しめる映像や、客席参加のシーンとともに舞台化。劇場全体でつくり上げる色鮮やかな谷川作品の世界をお届けする。

[日程] 7月25日～29日
[会場] 水戸芸術館ACM劇場

●埼玉県草加市

草加市文化会館
〒340-0013 草加市松江1-1-5
Tel. 048-931-9326 手塚啓文
<https://soka-bunka.jp/>

市民参加型音楽劇「Dream・ド リーム・Again～ここがウワサ の夢博物館～」

2009年から続く市民参加による舞台公演。公募で集まった48人の出演者が、約5カ月間、ワークショップでの練習を重ね、ダンス・朗読・歌で「夢」をテーマにしたオリジナルの音楽劇を熱演する。物語の舞台は、夢にまつわるさまざまな物や現象が集まる「夢博物館」。夢を見ることの大切さや夢が与えてくれる希望を感じられる、不思議で楽しいストーリーになっている。

[日程] 7月26日
[会場] 草加市文化会館

北陸・中部

●新潟県妙高市

妙高文化振興事業団
〒944-0046 妙高市上町9-2
Tel. 0255-72-9411 大野
<https://myoko-bunka.jp/>

MYOKO SKOOL vol.9「When it gets dark, your cheek comes closer, and the music slows down | 光が弱くなると、あなたの頬が近づき、音楽は速度を失い始める」

舞台芸術研究者の越智雄磨とダンスの魅力に迫るイベント「MYOKO SKOOL」。シリーズ9年目は振付家・ダンサーの敷地理を再び招聘し、社交ダンスをモチーフとした新作のダンスパフォーマンスを創作。公募による出演者と共に社交ダンスが内包する身体的・社会的な要素を掘り下げる。関連企画としてワークショップ「社交ダンスのための10の引用」を併せて開催。

[日程] 7月26日
[会場] 新井ふれあい会館

●石川県金沢市

石川県立美術館
〒920-0963 金沢市出羽町2-1
Tel. 076-231-7580 谷口・寺川
<https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

輪島塗 一漆文化を後世に— 堅牢優美な輪島塗について、木

地から加飾まで約30の工程を職人たちが技を繋いでつくり上げるという制作工程を紹介するとともに、将来を担う中堅・若手の作品を展示し、震災と豪雨という深刻な被害からの再興と、未来への技の継承を応援する。

[日程] 6月27日～8月2日
[会場] 石川県立美術館

●長野県松本市

まつもと市民芸術館
〒390-0815 松本市深志3-10-1
Tel. 0263-33-3800 小川
<https://www.mpac.jp/>

木ノ下歌舞伎「心中天の網島」 アクセシビリティ版

歌舞伎演目を現代の視点で新たに舞台化する木ノ下歌舞伎の主宰であり、まつもと市民芸術館の芸術監督団団長を務める木ノ下裕一が、何度も再演を重

ねている『心中天の網島』をアクセンビリティ版としてリクリエイション。松本のほか、愛知や鳥取など全国9カ所で、舞台手話通訳や音声描写などの鑑賞ガイド付きで上演する。

[日程] 7月10日～12日

[会場] まつもと市民芸術館

●岐阜県多治見市

岐阜県現代陶芸美術館

〒507-0801 多治見市東町4-2-5

(セラミックパークMINO内)

Tel. 0572-28-3100 永井

<https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

美濃陶芸の系譜 林正太郎展

岐阜県出身の陶芸家・林正太郎は、岐阜県東濃地方で培われた美濃焼の伝統を礎に、日本の四季や自然の風貌から着想を得て、自由で革新的な表現を追求してきた代表的な作家。本展では、志野、織部、黄瀬戸、瀬戸黒といった異なる色彩や質感をもつ4種類的美濃焼を中心に、林の新たな試みを紹介する。

[日程] 6月6日～7月12日

[会場] 岐阜県現代陶芸美術館

●愛知県知立市

ちりゅう芸術創造協会

〒472-0026 知立市上重原町

間瀬口116

Tel. 0566-83-8100 堀川

<https://patio-chiryu.com/>

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」[知立の山車文案とからくり]保存会公演

2年に一度の知立まつりで奉納される山車文案と山車からくりを、祭りの臨場感そのままに上演。精巧な人形遣いと巧妙なからくりの魅力を間近で体感できる。2016年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された知立が世界に誇る伝統の技が、有識者による演目の解説と現代語による字幕付きで、わかりやすく楽しめる。

[日程] 7月5日

[会場] パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)

近畿

●奈良県大和高田市

大和高田さざんかホール

〒635-0082 大和高田市本郷町6-36

Tel. 0745-53-8200 松川

<https://www.city.yamatotakada.nara.jp/sazankahall/>

ジョイフル・ピアノ・フェスタ 2026

一般参加者によるリレーコンサートとさざんかホールのレジデント・アーティストのひとりでもあるピアニスト・金子三勇士によるクラシックコンサートの2部構成。リレーコンサートでは、ホール所蔵のスタインウェイ・ピアノを舞台上で演奏することができるだけでなく、案内役の金子からワンポイントアドバイスをもらうことができる。

[日程] 8月1日

[会場] 大和高田さざんかホール



昨年の様子(アドバイスする金子三勇士)

中国・四国

●岡山市

岡山県立美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48

Tel. 086-225-4800 橋村

<https://okayama-kenbi.info/>

生誕151年からの鹿子木孟郎 不倒の油画道

近代の日本洋画に本格的な「写実」表現をもたらした洋画家・鹿子木孟郎(1874～1941)の画業を総覧する展覧会。今年3月に

国の重要文化財指定を答申された《ノルマンディーの浜》を含む初期から晩年に至る代表作を通じ、生涯追い求めた「不倒の油画道」とも呼ぶべき制作姿勢を紹介する。

[日程] 前期: 5月22日～6月14日/後期: 6月16日～7月5日

[会場] 岡山県立美術館

●高知県香美市

香美市立美術館

〒782-0041 香美市土佐山田町262-1

Tel. 0887-53-5110 小松

<https://www.city.kami.lg.jp/site/bijutukan/>

家族のかたち

收藏品の中から「家族」をモチーフにしたものを約20点選び、石見陽奈や上村葉々子といった子育て世代の作家の作品約10点とともに展示。時代を超えた「家族のかたち」について、明治・大正・昭和の家族像を描いた收藏品と、現代の家族像を描く現存作家による作品とを通して味わうことができる。

[日程] 6月20日～8月9日

[会場] 香美市立美術館

九州・沖縄

●佐賀県佐賀市

佐賀県文化・観光局文化課

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59

Tel. 0952-25-7236 毛利

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003118998/index.html>

関係するアート展vol.6

「心を揺さぶるほどの好奇心に、出会ったことはありませんか。」

障がいのある作家の「ユニーク」で「突き抜けた」作品を全国から集めた展覧会。6回目となる今回は「好奇心」をテーマに、上手さや正しさだけでは測れない、純粹な衝動や視点で生み出された作品約650点を展示。オリジナ

ル靴下をつくるワークショップなど、さまざまな企画も実施する。

[日程] 6月26日～7月29日

[会場] 佐賀県立博物館

●長崎県佐世保市

アルカスSASEBO

〒857-0863 佐世保市三浦町2-3

Tel. 0956-42-1111 古賀

<https://www.arkas.or.jp/>

アルカスSASEBOジュニアオーケストラ×長崎OMURA室内合奏団 サマーコンサート

長崎で活躍するプロの室内合奏団とジュニアオケによるジョイントコンサート。それぞれの演奏の後、両団体による迫力ある合同演奏をお届けする。プログラムはクラシックから映画音楽まで幅広いジャンルで構成され、オーケストラが初めての方や子どもも楽しめる内容となっている。

[日程] 8月11日

[会場] アルカスSASEBO

●大分県竹田市

竹田市文化振興財団

〒878-0024 竹田市大字玉来1-1

Tel. 0974-63-4837 後藤

<https://www.city.taketa.oita.jp/glanz/index.html>

グランツ音楽館「キナーレ」vol.5 ～もうひとつの展覧会の絵～

本格的な演奏と、画像を投影しながらのわかりやすいお話で音楽の奥深さをお届けする60分のコンサート。今回はピアニスト・中川賢一を迎え、ムソルグスキーの『展覧会の絵』を取り上げる。前日には、子どもたちが中川の生演奏を聞き、浮かんだイメージを描くワークショップを実施。描かれた絵はコンサートでスクリーンに投影される。

[日程] 8月2日

[会場] 竹田市総合文化ホール グランツたけた

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

財団からのお知らせ

●地域創造フェスティバル2026
 [日程] 2026年7月28日(火)、29日(水)
 [会場] 東京芸術劇場
 (東京都豊島区西池袋1-8-1)
 [申し込み方法] 地域創造ホームページ
 「参加登録フォーム」からお申し込みください。
<https://www.jafra.or.jp/project/festival/01.html>
 ①問い合わせ
 芸術環境部 児島
 Tel. 03-5573-4183



●「地域創造フェスティバル2026」参加者募集

地域創造が取り組んでいる事業を紹介し、公立文化施設や地方公共団体が事業を企画・実施する上で参考になる情報を提供することを目的に、「地域創造フェスティバル2026」を7月28日、29日の2日間、東京芸術劇場(東京都豊島区)で開催します。全国の皆様のご参加をお待ちしております。

※事前申し込み制です。一部のプログラムは定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

募集締切:7月17日(金)必着

フェスティバルのみどころ

◎おんかつ支援プレゼンテーション (公共ホール音楽活性化支援事業)

おんかつ支援の登録アーティスト54組が、音楽との新しい出会いを地域へ届けるため工夫を凝らした演奏とトークを、一組約25分の持ち時間の中で披露します。

◎ダン活プレゼンテーション (公共ホール現代ダンス活性化事業)

令和9年度ダン活登録アーティスト6組による、ダンスパフォーマンスやワークショップのデモンストレーションを鑑賞いただけます。

◎シンポジウム「評価はコミュニケーションだ！ 一公立文化施設における評価の取り組みと活用」

公立文化施設や文化行政における戦略的な評価のあり方に関して、令和7年度より調査を行っています。中間報告(アンケート調査データ集計)から見えた全体像を共有するとともに、現在、公立文化施設で取り組まれている評価事例を紹介することで、公立文化施設の価値を可視化する施設評価を起点に政策評価へつなげる道筋を考えます。

◎公立美術館の先進的な事例紹介「長野県シンビズムの取り組み」

長野県内の公立美術館等が連携して取り組む事業であるシンビズムについて、伊藤羊子氏(信州アーツカウンシル チーフコーディネーター)にご紹介いただきます。

地域創造フェスティバル2026 プログラム

*詳しいプログラム内容やタイムスケジュールは同封チラシまたは地域創造ホームページをご覧ください。
 *出演者および出演日等は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

7月28日(火)	7月29日(水)
<p>●シンポジウム [モデレーター] 大澤寅雄(合同会社文化commons研究所 代表・上席主任研究員) [パネリスト] 吉本光宏(合同会社文化commons研究所 代表・研究統括) / 若林朋子(プロジェクト・コーディネーター) / 中村美亜(九州大学大学院芸術工学研究院 教授) / 坂本このみ(公益財団法人札幌市芸術文化財団 総務課 調整担当係長) / 三富章恵(NPO法人アーツセンターあきた 事務局長)</p>	<p>●助成事業説明会 地域創造助成事業、公立美術館活性化事業について説明を行います。</p>
<p>●公立美術館の先進的な事例紹介 「長野県シンビズムの取り組み」</p>	<p>●事業個別相談会 地域創造の各種支援事業(おんかつ・邦楽・ダン活・リージョナル・美活・伝統芸能・助成)について担当者が個別の相談を承ります(1件15分)。</p>
<p>●ダン活プレゼンテーション 岩淵貞太、井田亜彩実、中村駿、竹内梓、Von・noズ、黒須育海</p>	<p>●おんかつ支援プレゼンテーション [ピアノ] 新居由佳梨、今田篤 [弦楽器] 石上真由子、北島佳奈、坂口昌優、高橋和歌、早稲田桜子(ヴァイオリン) / 北垣彩(チェロ) [管楽器] 荒川洋、森岡有裕子(フルート) / 田中拓也、田村真寛(サクソフォン) / 山崎由貴(ユーフォニアム) [声楽] 梅津碧(ソプラノ) / 糸賀修平(テノール) / ヴィタリ・ユシュマノフ(バリトン) / 小野寺光(バス・バリトン) [打楽器] 塚越慎子(マリンバ) / 新野将之(パーカッション) [邦楽] 藤重奈那子(箏・十七絃・地歌三絃) / 山野安珠美(箏・十七絃) / 棚原健太(歌三絃) [その他] 福島青衣子(ハープ) / 松尾俊介(クラシック・ギター) [アンサンブル] 泉真由 x 松田弦(フルート & クラシック・ギター) / Modétro Saxophone Ensemble (サクソフォン四重奏) / Quintet H (木管五重奏)</p>
<p>●情報交換会 アーティストや全国の公立文化施設の方々と交流ができます。情報交換やネットワークづくりにぜひご参加ください。</p>	

*おんかつ支援プレゼンテーションの出演者名は楽器ごとの五十音順。なお当日の出演時間および出演順は、現在調整中です。

財団からのお知らせ

●令和9年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」実施団体募集

この事業は、公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)実施団体を対象としたフォローアッププログラムです。ダン活で蓄積したノウハウ

を活用し、引き続き同様の事業を自主的に行う地方公共団体等に対し、最大3カ年財政的な支援を行います。

募集締切：2026年9月4日(金)必着

◎対象団体

次に掲げる①または②に該当する団体であって、原則として令和4年度以降にダン活またはダン活支援を実施した団体

①ダン活のAプログラム(地域交流プログラム)、Bプログラム(市民参加作品創作・公演プログラム)およびCプログラム(公演プログラム)のすべてを実施した地方公共団体等

②ダン活のAプログラムおよびBプログラム、またはAプログラムおよびCプログラムを実施した地方公共団体等

◎対象アーティスト

公共ホール現代ダンス活性化支援事業登録アーティスト(26組)

◎支援内容

以下の①②に係る経費の3分の2以内(2年目以降は2分の1以内)で財政

支援を行います。

①対象アーティスト等派遣経費：対象アーティスト、アシスタント、テクニカルスタッフ等の出演料等(助成対象上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、損害保険料
②公演負担金：公演実施に係る経費(助成対象上限額あり)

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

●令和7年度「公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究」中間報告書 ホームページ公開のお知らせ

昨年度中にご協力いただきました「公立文化施設における政策 評価等のあり方に関する調査研究」のアンケート調査につきまして、中間報告書を当財団ホームページで公開しました(PDF版を閲覧・ダウンロード可能です)。

・「出版物・調査報告等」→「調査研究報告書」

<https://www.jafra.or.jp/library/report/2025/>

調査にご協力いただいた地方公共団体および公立文化施設のご担当者の皆様に感謝申し上げます。令和8年度も引き続き本テーマに関する調査を継続し、公立文化施設における政策評価のあり方について検討を深めてまいります。

令和8年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」募集開始

地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く周知することにより、公立文化施設の活動のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的としています。ご応募をお待ちしています。

募集締切：2026年8月3日(月)

新機軸となり得る創意工夫をこらした文学、歴史などで①～④の分野と連携しながら継続的に事業を展開していると認められるもの)

●審査の主なポイント

- 地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか
- 先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- 地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか など

●表彰対象

- 開館から概ね5年を経過している(廃校施設等の転用施設を含む)
- 地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績を挙げている
- 条例により公の施設として設置および管理されている
- 以下の①～⑤を主な活動分野としている文化施設
①音楽分野、②演劇・ダンス分野、③伝統芸能分野、④美術分野、⑤その他(文化・芸術の

●令和9年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」の実施要綱・申込書等は、当財団ホームページに掲載しています。

<https://www.jafra.or.jp/project/dance/02.html>

◎申し込み・問い合わせ

芸術環境部 伊藤

Tel. 03-5573-4075

E-mail: dankatsu@jafra.or.jp

●地域創造大賞(総務大臣賞)

◎実施要領・応募方法

「実施要領」「応募書」は当財団のホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/award/01.html>

都道府県・政令指定都市は当財団に直接ご応募ください。市区町村は、当財団のホームページに掲載した都道府県の担当課を経由して提出してください。

◎問い合わせ

総務部 黒田・山田

Tel. 03-5573-4184

taishou@jafra.or.jp

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和9年度「リージョナルシアター事業」実施団体募集

演出家や俳優(以下、派遣アーティスト)を公共ホールに最大3回派遣し、公共ホールとともに演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施する「リージョナルシアター事業」の実施団体を募集します。

この事業では、学校等の施設を訪れて子ども等を対象にワークショップを行うアウトリーチや、ホール等で多様な参加者に応じたワークショップを実施します。地域のニーズやホールの目指す方向性に合わせて自由に企画することができ、地域の課題に取り組むことが可能になります。また、公共ホール等スタッフの企画・制作能力の向上、ホールの活性化も期待できます。

令和9年度から新たに1名の派遣アーティストが加わり、7名のアーティストによる多様なアプローチで事業を展開していきます。

これまでの事業では、小中学校でのアウトリーチや、公募した市民とともに街歩きやホール探検をして地域・ホールの魅力を再発見する

ワークショップ、行政職員や教員の研修として行うワークショップなど、多岐にわたるプログラムを実施してきました。

事業実施前には実施団体と派遣アーティストによる研修会を実施し、過去の事例紹介やワークショップ体験、事業実施に向けた打ち合わせを行うことで、各地域の課題や展望を共有していきます。

演劇の手法を使った新しい取り組みへの挑戦や、派遣アーティストの新しい視点を活用したいというホールの皆様のご応募をお待ちしています。詳細は当財団ホームページをご覧ください。

<https://www.jafra.or.jp/project/theater/02.html>

募集締切:2026年8月14日(金) 必着

地域創造公式YouTubeチャンネルでは令和4年度リージョナルシアター事業の山形県酒田市・福島県白河市の取り組みを配信中! ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLYZCIJ3IEts1zLgMJrdFhlsanOfObH8>



リージョナルシアター事業 派遣アーティスト (50音順/*は新規アーティスト、★はアドバイザー兼務)



©浅田政志

有門正太郎(俳優・演出家・劇作家、有門正太郎プレゼンツ主宰)



©河西沙織(劇団志劇屋)

*F.O.ベレイラ宏一朗(俳優・劇作家・演出家、プロテアトル代表)



志賀亮史(演出家、百景社代表)



©平岩享

★多田淳之介(演出家、東京デスロック主宰)



★田上豊(劇作家・演出家、田上バル主宰)



©伊藤華織

樋口ミユ(劇作家・演出家、Plant M主宰)



福田修志(劇作家・演出家、F's Company代表)

*アーティストプロフィールは右のURLよりご確認ください。 https://admin.jafra.or.jp/fs/8/3/4/2/7/_/_9_-----_.pdf

●令和9年度「リージョナルシアター事業」
※実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/theater/02.html#boshu>

◎問い合わせ
芸術環境部 藤原・嶋崎
Tel. 03-5573-4124
regional@jafra.or.jp

財団からのお知らせ

●公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)に関する問い合わせ
芸術環境部 金山
Tel. 03-5573-4168

●公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)に関する問い合わせ
芸術環境部 保谷
Tel. 03-5573-4185

●公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業に関する問い合わせ
芸術環境部 山下
Tel. 03-5573-4143

※おんかつ関連事業共通メールアドレス
onkatsu@jafra.or.jp

※各事業の実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

●導入プログラム

<https://www.jafra.or.jp/project/music/01.html>

●支援プログラム

<https://www.jafra.or.jp/project/music/03.html>

●市町村連携事業

<https://www.jafra.or.jp/project/music/06.html>

●令和9年度「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」実施団体募集

この事業(おんかつ)は、オーディションで選ばれたクラシック音楽のアーティストと専門家のコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールとアーティストが共同で企画した学校や福祉施設等での地域交流プログラムや公演を実施することにより、公共ホールの利活用の促進やホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するものです。アーティストの情報については7月中に決定し、当財団ホームページにて公開予定です。

募集締切:2026年9月3日(木)必着

◎対象団体

- ①市町村(特別区を含み、政令指定都市を除く)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

◎事業内容

3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。
[地域交流プログラム]学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業:4回(1日につき2回)
[公演]公共ホールで開催する有料のクラシック音楽コンサート:1回

◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費(出演料、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)/地域交流プログラムに係る経費(主にピアノ調律費:10万円限度)/コーディネーターの派遣/全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)および個別研修(現地地下見)の実施

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

●令和9年度「公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業」実施団体募集

この事業は、おんかつや邦楽事業の実施団体を対象として、他の市町村の公共ホールと連携した事業の実施により、公共ホール間の連携について考え、学ぶ機会の確保および公共ホール職員等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的としています。

募集締切:2026年9月3日(木)必着

●令和9年度「公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)」実施団体募集

この事業(おんかつ支援)は、おんかつまたは公共ホール邦楽活性化事業の実施団体を対象とした、最大5カ年まで実施可能なフォローアッププログラムです。前述の事業で得たノウハウを活用し、引き続き同様の事業を行う市町村等に対して財政的に支援します。

募集締切:2026年9月3日(木)必着

◎対象団体

おんかつ(おんかつ支援、発展継続(支援)、文化庁連携事業を含む)または公共ホール邦楽活性化事業を過去に実施した市町村等(特別区を含み、政令指定都市を除く)。ただし、おんかつ、邦楽事業または地域創造の他の共催事業を原則として10年以内に実施していること。

◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト

◎支援内容

以下の①および②に係る経費の支援1年目:2/3、2年目以降:1/2を地域創造が助成します。
(※対象経費上限は100万円。助成割合は過去のおんかつ等事業実施状況を勘案し決定)

①演奏家に係る経費

出演料およびマネジメント料(上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、楽器運搬費(現地楽器運搬費を除く)、損害保険料

②地域交流プログラムおよび公演に係る経費

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

◎対象団体

幹事団体:上記「おんかつ支援」と同じ/参加団体:原則として幹事団体の近隣に存する市町村等(おんかつ等の実施の有無を問わない)

◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト

◎事業内容

①全体研修会、企画会議等、②地域交流プログラム(各団体が主体となって実施)、③公演(有料公演、共同実施も可)、④報告会

◎経費負担・支援内容

上記事業に係る経費の1/2を地域創造が負担(対象経費上限:幹事団体は150万円、参加団体は100万円)/アドバイザーの派遣/研修会における講師の派遣

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和9年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体募集

この事業は、オーディションで選ばれた邦楽演奏家とコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールと演奏家が共同で企画した地域交流プログラムやホールプログラムを実施するも

のです。公共ホールの利活用の促進やホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するとともに、日本の伝統音楽の継承発展に寄与することを目的としています。

募集締切：2026年9月3日(木) 必着

◎対象団体

- ①市町村(特別区および政令指定都市を含む)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

◎対象アーティスト

令和8・9年度 邦楽登録演奏家(右)

◎事業内容

原則、3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。

[地域交流プログラム] 学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業：4回(1日につき2回)

[ホールプログラム] 公共ホールで開催する有料のコンサートまたは公募型ワークショップ：1回

◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費(出演料、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)/地域交流プログラムに係る経費(楽器運搬費など：10万円限度)/コーディネーターの派遣/全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)および個別研修(現地地下見)の実施

※詳細は実施要綱等をご確認ください。



丹生谷愛恵(にゅうのやまなえ) [箏・十七絃]



町田夢子(まちだ ゆめこ) [箏・十七絃・三絃・胡弓]



東田はる奈(ひがしだ はるな) [笙]

●令和8年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体一覧(全7団体)/アーティスト

- 岩手県一戸町/東田はる奈
- 茨城県茨城町/丹生谷愛恵
- 福井県勝山市/丹生谷愛恵
- 滋賀県近江八幡市/町田夢子
- 岡山県勝央町/町田夢子
- 高知県高知市/丹生谷愛恵
- 佐賀県唐津市/丹生谷愛恵

◎邦楽事業の実施要綱・申込書は当財団ホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/04.html>

◎問い合わせ

芸術環境部 北川
Tel.03-5573-4069
hougaku@jafra.or.jp

●令和8年度「公共ホール邦楽活性化事業」全体研修会報告

令和3年度から始まった公共ホール邦楽活性化事業。6年目となる今年度は7団体が事業を実施予定です。5月13日～15日の3日間、実施団体を対象に全体研修会を行い、13人の担当者が参加しました。

初日は、アイスブレイクを兼ねて中村馨さん(ダンス支援登録アーティスト)によるダンス・ワークショップで研修がスタート。実施団体の担当者やコーディネーター等が2グループに分かれて、葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」に“なり切る”ワークもあり、会場内に一体感が生まれました。また、コーディネーターの谷垣内和子さん(邦楽評論家)による講義「邦楽のいろは」は、現在見聞きできる邦楽の良さがテーマ。日本の舞台芸術や音楽等について紹介され、担当者は翌日の演奏家プレゼンテーションを前に理解を深めました。

2日目は、令和6年度に実施した宮崎県都城市の假屋沙織さん(公益財団法人都城市文化振興財団)と担当コーディネーターの伊

藤由貴子さん(元神奈川県立音楽堂館長)による事例紹介がありました。①地域の持ち味をどう活かすか、②担当者の思いをどう形にするかを軸にした対話形式での紹介に、参加者からも熱心な質問が次々と投げかけられました。同日、文京シビックホールにて、令和8・9年度登録演奏家の東田はる奈さん、丹生谷愛恵さん、町田夢子さんが共演者と共にプレゼンテーションを披露。町田さんは箏・三絃の「技」を紹介し、その「技」を使って参加者と一緒にオリジナルの『さくらさくら』をつくる場面もありました。演奏家からのプレゼンテーションが終わると、今度は実施団体から演奏家へ地域の魅力をプレゼン。その後の交流会では、演奏への感想や各地域の話題、具体的な企画の相談など、事業へのイメージを膨らませながら親交が深まりました。

最終日は、地域の持ち味を振り返り、まちの課題や方針なども考慮しながら企画内容を検討。そして、「誰に届けたいか」「届け

ることで期待することは何か」等お一人ずつ発表しました。今回さまざまな立ち上がったアイデアが、演奏家との共同でどのように実現していくのか、今後の邦楽事業にぜひご注目ください。



上：中村馨さんのダンス・ワークショップ
下：町田夢子さんのプレゼンテーション

財団からのお知らせ

◎[I]「市町村立美術館等活性化事業」 参加申し込み方法

参加を希望する公立美術館が、直接地域創造に申し込みます(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、参加決定後に共同巡回展実行委員会を設立していただきます。また、事業の参加に当たっては、準備年度に開催される実行委員会・学芸担当者会議への出席にかかる経費等についての予算措置が必要です。

●公立美術館活性化事業に関する問い合わせ

総務部 高野・黒田
Tel. 03-5573-4056
bikatsu@jafra.or.jp

●各事業の詳細については、実施要綱をご確認ください。各実施要綱および申請書類は、当財団ホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/>

「市町村立美術館等活性化事業」 貸出協力館を募集します

令和11年度(令和10年度準備)以降に開催する共同巡回展のための協力館を募集します。協力館には、収蔵作品の貸出や、巡回展開催のために助言等を行うアドバイザーの就任等をお願いしています。本事業では西洋美術や版画、工芸、写真、現代美術等、多様なジャンルの展覧会を24回開催し(令和8年度までの実績)、美術館の連携促進、共同事業の可能性を広げることによる公立文化施設の活性化を目指してきました。また、巡回展は全国各地の美術館3~4館程度を約1年かけて開催しますので、収蔵作品活用の機会になります。詳細は担当までお問い合わせください。

●令和9・10年度

「公立美術館活性化事業」参加館募集

公立美術館活性化事業における4事業5種類のプログラムについて、参加館を募集します。

募集締切:2026年10月30日(金)

[I] 令和9年度準備・10年度開催

「市町村立美術館等活性化事業」

この事業は、地域創造が提示する公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展を、公立美術館が共同で実施するものです。参加館で実行委員会を結成し、準備年度である令和9年度は学芸担当者会議等を行い、アドバイザーの助言のもと企画の具体化や調査研究、制作実務を参加館で分担して進めます。そして令和10年度に巡回展を開催します。

地域創造は、準備年度・開催年度の2か年にわたる助成に加え、アドバイザーの派遣や制

作実務に対する助言等により、事業の実施をサポートします。

今年度募集するのは、令和10年度に開催予定の共同巡回展「淡く透き通る風景・水彩画の魅力—東御市丸山晚霞記念館、東御市梅野記念絵画館所蔵品を中心に—」展(仮称)への参加館です。丸山晚霞記念館は、日本の水彩画の歴史に大きな足跡を残した丸山晚霞を中心に、吉田博、三宅克己など、明治期の作品から昭和初期にかけての水彩画を所蔵しており、東御市梅野記念絵画館では、同時期の関西の作家たちの作品をコレクションしています。

この度は、東御市丸山晚霞記念館および東御市梅野記念絵画館の水彩画の所蔵品を借用し、明治期から昭和初期までの水彩画の流れをたどる巡回展を企画します。各館の所蔵する水彩画を各会場で追加展示するという展開も考えられます。本事業は、共同企画

●「淡く透き通る風景・水彩画の魅力展」企画について

明治期に海外からもたらされた西洋技法の中で、水彩画は独自の発展を遂げ、明治後期には全盛時代を迎えました。当時の日本の風景や風俗を描いた作品は海外でも大変な人気を呼び、多くの作家が高い評価を受けていました。丸山晚霞記念館は、日本の水彩画の歴史に大きな足跡を残した丸山晚霞を中心に、吉田博、三宅克己など、全盛期を支えた明治期の作品から昭和初期にかけての水彩画を所蔵しています。加えて、東御市梅野記念絵画館では、同時期の関西の作家たちの作品をコレクションしています。これらの水彩画は、私たち日本人の原風景とも言えるもので、年齢や性別を問わず多くのひとたちの心に響く魅力に満ちています。現在、この水彩技法は身近なアニメーションの背景美術にも引き継がれており、日本の風土を愛し、そこに宿る時間を描こうとする、変わらぬ感性が水彩画とも共通しています。

本展は東御市丸山晚霞記念館・梅野記念絵画館の所蔵している明治期の水彩画を中心に、明治期から昭和初期までの水彩画の流れをたどっていく内容を目指します。展開の可能性のひとつとして、開催館の所蔵する水彩画や地域にゆかりの作家作品などを、各会場で追加展示することも考えられます。また、特に地域交流プログラムでは、水彩技法を受け継ぐアニメーション背景

にも着目し、『千と千尋の神隠し』、『ハウルの動く城』、『もののけ姫』、『サマーウォーズ』など多くの名作で美術監督を務めた武重洋二氏による講演やワークショップ、作品にちなんだ地域の演奏家によるコンサートなども交え、多角的なアプローチで水彩画の魅力を再発見できるものにしていきたいと考えています。

(東御市丸山晚霞記念館 館長 佐藤聡史)



上:丸山晚霞《高原の秋草》/下:吉田博《橋と竹林》

▼一 財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

を通した学芸員の研修も目的としているため、経験の有無に関わらずご参加いただけます。ファシリティについても、可能な対応策を貸出協力館とも相談して前向きな検討をいたします。そのため、ご興味のある方は、まずはお気軽に担当までお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております。

[II-①] 令和9年度準備・10年度開催

[公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)]

[II-②] 令和9年度開催

[公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)]

3館以上の公立美術館が共同で自主的に企画・制作による、公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展に対し助成します。

「2か年プログラム」は、令和9年度に企画の具体化や調査研究、出品交渉やカタログ編集等の準備作業を行い、令和10年度に巡回展を開催する事業を対象とし、準備年度150万円、開催年度2,000万円を上限に助成します(なお、開催年度助成金については、決定額の50%までの前金払い請求が可能です)。

「単年度プログラム」は、令和9年度に開催される共同巡回展について、A.作品借用・展示

関連経費への助成と、B.図録作成経費への助成のどちらかをご選択いただき、A.については500万円、B.については300万円を上限に助成します。

[III] 令和9年度実施

[公立美術館共同巡回展企画支援事業]

2館以上の公立美術館による、「公立美術館共同巡回展開催助成事業」の申請に向けた、企画内容の検討や調査研究等の取り組みを支援します。学芸担当者会議の開催や調査活動のための経費に対し、100万円を上限に助成するほか、アドバイザーの派遣、会議室の提供、他の参加館募集の告知等による支援も行います。

[IV] 令和9年度実施

[公立美術館共同地域交流プログラム助成事業]

2館以上の公立美術館が共同で企画する、公立美術館の所蔵品を活用した地域交流プログラムの実施に対し、100万円を上限に助成します。参加館や他の公立美術館のコレクションを活用した展覧会(異なる展覧会も可)に関連し、各館の展示内容やテーマ(作家、素材、技法、様式、モチーフなど)をもとに自主的に企画・実施される地域交流プログラムが対象です。

◎[II-①][公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)]申請方法

- 準備年度:各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。
- 開催年度:準備年度に助成決定を受けた共同巡回展実行委員会より申請します。

◎[II-②][公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)]申請方法

- 各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。

◎[III][公立美術館共同巡回展企画支援事業]および[IV][公立美術館共同地域交流プログラム助成事業]申請方法

- 各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(指定管理者制度を導入している施設の場合に限り、設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、実行委員会の設立は必要ありません。

事業名	対象となる美術館(*1)	申請について	助成措置		
			助成率(*2)	上限額	助成期間
[I] 市町村立美術館等活性化事業	都道府県、政令指定都市、市区町村の設置する美術館 ※都道府県は条件あり	参加を希望する各公立美術館より申請 ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度:10/10 開催年度:2/3	準備年度:100万円 開催年度:1,200万円	2年間
[II-①] 公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)	都道府県、政令指定都市、市区町村の設置する美術館	3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる) ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度:2/3 開催年度:2/3	準備年度:150万円 開催年度:2,000万円	
[II-②] 公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)		3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	2/3	作品借用・展示関連:500万円 図録作成関連:300万円	
[III] 公立美術館共同巡回展企画支援事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	10/10	100万円	
[IV] 公立美術館共同地域交流プログラム助成事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	10/10	100万円	

*1 公立美術館活性化事業における美術館とは、博物館その他を含め、美術作品の公開および保管を行う施設をいいます。

*2 [I]の開催年度および[II]①については、対象経費の合計額から収入を控除した額の助成率です。その他については、対象経費の合計額に対する助成率となります。

▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

滋賀県守山市

守山市民ホール

「第15回ルシオール アート キッズフェス ティバル」



上:0歳からのコンサート/下:ルシオールユースウインドオーケストラのコンサート

●第15回ルシオール アート キッズフェスティバル

【会期】2026年5月17日

【主催】(公財)守山市文化体育振興事業団
【会場】守山市民ホール、立命館守山中学校・高校、あまが池プラザ・親水緑地 ほか
【出演】日本センチュリー交響楽団、びわ湖ホール声楽アンサンブル、ルシオールユースウインドオーケストラ ほか

●守山市民文化会館(守山市民ホール) 1986年11月開館。1,300席の大ホール、300席の小ホール、市民ギャラリー、リハーサル室、練習室、学習室・調理実習室などを有している。2006年より指定管理者として公益財団法人守山市文化体育振興事業団が運営。同財団では守山市内の小学生約30人が所属するルシオールジュニアバンド、守山市内の中高生60人ほどが所属するルシオールユースウインドオーケストラ(両方とも月会費5,000円)を運営し、定期演奏会のほか、守山市内の小中高生や市民の吹奏楽団が一堂に会して世代を超えて合同演奏やマーチングショーを披露する「ルシオール吹奏楽フェスタ」などさまざまな事業を展開。

滋賀県守山市で5月17日、守山市民文化会館(守山市民ホール)をメイン会場に「第15回ルシオール アート キッズフェスティバル」が開催された。大ホールでは1,000人以上の親子を前にびわ湖ホール声楽アンサンブルによる「0歳からのコンサート」や映画音楽などをプログラムした日本センチュリー交響楽団による「オーケストラコンサート」、ロビーでは無料で関西フィルハーモニー管弦楽団アソシエイト・コンサートマスター堀江恵太らによる弦楽四重奏、守山市在住の打楽器奏者・宮本安子率いる打楽器アンサンブルと草津の児童合唱団の共演なども披露された。また、会館所属の「ルシオールユースウインドオーケストラ(LYWO)」のコンサートや、会館に隣接する立命館守山中学校吹奏楽部の屋外コンサートも行われ、みんな熱心に耳を傾けていた。

このフェスティバルを守山市、守山市教育委員会とともに主催しているのは、文化会館を運営する守山市文化体育振興事業団だ。小森慎也館長によると、2010年から17年まで行われていたびわ湖ホールの「ラ・フォル・ジュルネ びわ湖」のプレイベント的な位置づけで、12年にスタートしたという。

「当初は聴衆の育成をミッションに、オーケストラコンサートはオペラなど市民には馴染みの薄いクラシックの名曲をプログラムしていたんです。しかし、ラ・フォル・ジュルネ終了後は集客に苦戦するようになり、昨年より親しみやすい曲目に方針転換しました。22年に設立したLYWOの定期演奏会(無料)がいつも満席で、それが入り口になってプロのオーケストラを聴きたいと考える方も増加。若年層への招待枠を増やしたこともあり、去年、今年と満席になっています」

ちなみにLYWOが創設されたのは、当時の守山市長から「若い世代がホールをもっと利用する仕組みはできないか」と持ちかけられた小森が、吹奏楽での活動を思いついたことがきっかけだった。

「守山市には吹奏楽部の顧問の先生に優秀

な方が多く、市内の学校がしばしば大会の滋賀県代表に選ばれるほどレベルが高い。それで、私自身もかつて学んだことのある武藤千尋先生に相談しました。先生がすでに定年を迎えていらっしゃることもあり、先生をホール職員に迎えて、中高生のウインドオーケストラを立ち上げました。初年度には文化庁の地域文化倶楽部創設支援事業のモデル事業にも採択されました」

現在、LYWOの指揮者を務める武藤は言う。

「最初は小学生のジュニアバンドを立ち上げたいと相談されましたが、小学校には吹奏楽部がなく、楽器もないので、まずは中高生からスタートしたほうが良いと考えました。練習は、学校の部活との両立が基本です。練習が重なる場合は部活を優先してもらおう。ですから、部活と競合するコンクールには出場しません。LYWOではプロの講師を招いたパート練習を2カ月間に3回ほど実施しています。文化会館の部屋が空いていればいつでも自主練習に使用できるのも特徴でしょう。一般に吹奏楽ではポップスなども演奏しますが、うちは古典をしっかりと、実力をつけています。一方で、活動はどこまでも教育的に、どの生徒も楽しく演奏できるよう心がけています」

昨年には満を持して30人ほどが在籍する小学生のための吹奏楽団「ルシオールジュニアバンド(LJB)」をスタート。その際には全国に提供を呼びかけ、子どもたちが使う楽器を集めた。なお、守山市には、1995年創設の守山市民吹奏楽団があり、武藤はその指導者でもある。

「大切なのはこの先。LJB、LYWO、守山市民吹奏楽団が、良い循環をつくっていかねばなりません。また、いつか学校の部活に限界が来た時には、地域移行として受け皿にならなければとも考えています」(武藤)

こうした活動が軌道に乗りつつあるなか、ホールは来年4月から2年半の改修工事に入る。これまでの活動が評価され、市の協力により、吹奏楽に配慮した改修設計や代替施設の手配も進んでいるという。「どの活動も継続します」という小森館長の言葉が力強かった。

(舞台芸術ライター・高橋彩子)